

物語文を読んでえらぼう

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 リレーの朝を よんで、スタートラインに立つころのあきらの気持ちを1つえらびましょう。

リレーの選手に えらばれた あきらは、当日の 朝、きんちょうで むねが どきどきしていた。でも「みんなが おうえんしてくれる」と 思うと、スタートラインに 立つころには、自然と 顔が 上がっていた。

1 きんちょうしていたが、みんなのおうえんを思って前を向けた気持ち。

2 きんちょうしていたが、練習してきた自分を信じて前を向けた気持ち。

3 きんちょうしていたが、家族の顔を見つけて前を向けた気持ち。

4 きんちょうしていたが、えらばれたほこらしさで前を向けた気持ち。

2 わすれ物を よんで、みなみがしょくいん室へ向かったのはなぜですか。1つえらびましょう。

教科書を 家に わすれてきた みなみは、先生に 話すのが こわくて、なかなか 言い出せなかった。それでも「正直にあやまろう」と 決めて、休み時間に しょくいん室へ 向かった。

1 こわかったが、言い出さないままにいるのがつらくなったから。

2 こわかったが、教科書がないとじゅぎょうでこまると思ったから。

3 こわかったが、先生がやさしい人だと思い出したから。

4 こわかったが、自分から正直にあやまろうと決めたから。

3 日曜日の川原を よんで、糸をさし出されたときのゆうとの様子を1つえらびましょう。

日曜日、ゆうとは おじさんと 川原で たこを あげた。何度も 走って、やっと たこが 空 高く 上がると、ゆうとは「やった!」と とび上がった。おじさんが「持ってみるか」と 糸を さし出した。糸はぴんとはって、ぶるぶる ふるえている。ゆうとは 一歩 下がり、おじさんの そでを ぎゅっと つかんだ。

1 何度も走ってつかれたが、早く自分で糸を持ちたがっている。

2 たこが上がったのはうれしいが、強く引く糸はこわがっている。

3 たこが上がったのがうれしくて、早く自分で糸を持ちたがっている。

4 何度も走ってつかれたうえに、強く引く糸もこわがっている。

物語文を読んでえらぼう

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 夏のプールを よんで、スタート台へもどっていったときのれんの気持ちを1つえらびましょう。

夏のプールで、れんは はじめて 二十五メートルの はしまで たどりついた。先生が「よく がんばったね」と 頭を なでて くれた。けれど れんは くちびるを かんで、へんじも せずに スタート台へ もどって いった。とちゅうで 一回、足をついて しまったのだ。

1 ほめられても、まだなっとくできず、もっと速く泳げるようになりたい気持ち。

2 ほめられて自信がつき、もっと速く泳げるようになりたい気持ち。

3 ほめられても、まだなっとくできず、一度も足をつかずに泳ぎたい気持ち。

4 ほめられて自信がつき、一度も足をつかずに泳ぎたい気持ち。

2 夕方の公園を よんで、こうたがブランコをとびおりたのはなぜですか。1つえらびましょう。

夕方の 公園で、こうたは ブランコを むちゅうで こいで いた。すな場では、友だちが 山を 作っている。こうたは 急に ブランコを とめて、とびおりた。ズボンの ポケットに 手を入れた。家のかぎを にぎると、「あった」と 大きく 息を はいた。それから、また ブランコに こしをおろした。

1 すな場の友だちと、いっしょに遊びたくなったから。

2 家のかぎを、落としていないか気になったから。

3 長くこいでいるうちに、少し気分が悪くなったから。

4 夕方になって、家に帰る時間だと気づいたから。

3 にわの花を よんで、花がさいたときのまいの気持ちを1つえらびましょう。

毎朝 水を やって 育ててきた 花が、ついに さいた。まいは その 花を見て、はねるように 家の中へ かけこみ、家族に 大きな 声で 知らせた。

1 毎朝世話をした花がさいて、自分をほめてあげたい気持ち。

2 毎朝世話をした花がさいて、じっと見とれていたい気持ち。

3 毎朝世話をした花がさいて、もっと花をふやしたい気持ち。

4 毎朝世話をした花がさいて、早く家族に知らせたい気持ち。

物語文を読んでえらぼう

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 サッカーのしあいを よんで、帰り道のけんとの気持ちを1つえらびましょう。

サッカーの しあいに 負けた けんとは、くやしくて下を 向いた。しかし 帰り道、コーチの「よくさいごまで あきらめなかった」という 言葉を 思い出し、こぶしを にぎって「次は 勝つ」と心に決めた。

- 1 くやしかったが、コーチの言葉で次は勝とうと決めた気持ち。
- 2 くやしかったが、なかまの言葉で次は勝とうと決めた気持ち。
- 3 くやしかったが、相手のプレーを思い出して次は勝とうと決めた気持ち。
- 4 くやしかったが、家族のはげましで次は勝とうと決めた気持ち。

2 のこりのドーナツを よんで、あやが大きいほうを弟にわたしたのはなぜですか。1つえらびましょう。

おやつ の ドーナツが 一つ だけ のこっていた。あやは 弟と 分けようと 半分に わったが、大きさが そろわなかった。小さい ほうの 切り口からは、中の チョコが たっぷり 見えている。あやは それを 見て にんまりし、大きい ほうを 弟に わたした。

- 1 弟に、大きいほうを食べさせてあげたかったから。
- 2 夕ごはんの前なので、食べすぎないようにしたから。
- 3 小さいほうに、チョコがたくさん入っていたから。
- 4 弟が、大きいほうがほしいと言ってきたから。

3 家に来た子ねこを よんで、ソファの下をのぞきこんでいたときのそうまの様子を1つえらびましょう。

家に 子ねこが 来た 日、そうまは ずっと だっこしていたかった。でも 子ねこは ソファの 下にもぐりこんで 出て こない。そうまは ゆかに ほおを くっつけて、下を のぞきこんだ。暗い 中で、子ねこの 目が 二つ、ビー玉のように 光っている。そうまは 夕ごはんによばれるまで、にこにこしながら それを ながめていた。

- 1 子ねこが出てこないで、早くだっこしたくてそわそわしている。
- 2 子ねこが出てこなくても、暗い所で光る目を見て楽しんでいる。
- 3 子ねこが出てこなくても、ごはんによび出そうと考えている。
- 4 子ねこが出てこないで、きらわれたと思ってしょんぼりしている。